

(ユナイト)

Unite・団結だより

by ながた

第 6 号

神原中・神原小・壺屋小
発行責任者 上地幸市

神原中小中一貫教育Gでは、7月8日に第1回の小中合同授業研を行いました。

授業は、神山義治先生による3年社会科の授業と高瀬智美先生による3年道徳の授業が行われました。当日は、コロナ禍の中での取組だったため、三密を避けるために参加の先生方を授業参観グループとモニターによる参観グループに分けて実施しました。

今号では、授業の様子や先生方の話し合いの様子を写真で紹介するとともに、ワークショップのまとめや授業研究会後の感想・意見等を紹介致します。

写真で見る授業の様子

社会科

授業の流れを観察する先生方



生徒の学習状況を見取る先生方



授業終了後の生徒の学びの状況がわかる黒板記録(イイね!)



道徳科

授業について説明する担任



グループの話し合いを見守る先生方



話し合いの結果を発表する生徒



授業について説明する授業者



みじかな選挙を学習につなげる授業について説明する神山先生



「ともに生きる社会」の授業について説明する高瀬先生

授業について協議する先生方

参観メモをまとめる先生方



授業者説明を聞く先生方



各班の発表を聞く先生方



各班とも熱心に討議しており、壺屋小の第2回授業研
(9月14日)につながる話し合いになりました

班の発表に聞き入る先生方

部長・班長の感想から

- ◎ 3年社会科の授業は、3年後に選挙権を得る生徒にとって意識を高める上でも良い授業でした。
- ◎ 道徳の授業は、社会参画の意義に気づき、「共に生きる社会（学級）」を実現する実践意欲を育む工夫がなされた授業でした。
- ◎ 講評では、小学校と中学校の発達段階を互いに共有する意義や互いの良さの伸長に目を向け、児童生徒の育成につながる働きかけの重要性について助言をいただいた。

校長・教頭の講評から

- ◎ 社会科の授業は、選挙を通して社会参画を考えるダイナミックで教員の情熱を感じさせる授業でした。
- ◎ 道徳の授業では、中学3年生が男女仲良く意見交流している姿を見て、「中学生のイメージが変わった」との教師の発言があった
- ◎ 現3年生は、コロナ禍で1年の入学式も2ヶ月遅れで行うなど、コロナに翻弄された学年ですが、この2年間で大きく成長させてくれた中学校の先生方に敬意を表する。



道徳の
授業の講
評をする
浦崎長



社会科の
授業の講
評をする
石垣校長